

一般社団法人 日本青果物輸出促進協議会

(Japan Fruit and Vegetables Export Promotion Council)



団体の概要

概要及び設立時期

日本青果物輸出促進協議会は、国産青果物とその加工品の輸出促進事業や情報の収集・提供等を通じて、国産青果物等の輸出を促進することを目的に平成27年5月に設立。令和4年11月に任意団体から一般社団法人に移行。

目的

国産青果物及びその加工品の輸出を促進するため、

- ① 国内外での国産青果物等のPR
- ② 展示会・セミナー等の実施
- ③ 海外マーケティング調査
- ④ 産地間連携及び輸出環境整備等に関する検討会の開催
- ⑤ 国産青果物等の輸出事業者による輸出活動等の支援等を実施する。

代表者

会長 菱沼 義久

会員

(一社) 青森県りんご対策協議会、(株) アライド コーポレーション、Wismettacフーズ(株)、九州農産物通商(株)、Japan potato(有)、JA全農インターナショナル(株)、東京青果(株)、NAX JAPAN(株)、日本園芸農業協同組合連合会、日本ブドウ産地協議会、なめがたしおさい農業協同組合、船昌商事(株) 他

全96会員※

※令和7年6月13日時点

主な取組

産地間連携によるオールジャパンでの需要開拓

- ・ シンガポール、タイ等において、オールジャパンによるプロモーションモデル実証を行い、ジャパンブランドの浸透や国内産地間連携によるオールジャパンの活動を推進



HELLOKITTY © 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L652.521

産地リレーにより日本産青果物の棚を通年確保し、ジャパンフェアを実施



ストーリーブックを制作・配布し日本産青果物の魅力をアピール



産地リレーの情報をSNSで情報発信



■ 主な取組（続き）

輸出ターゲット国・地域のマーケット調査

- 海外の小売店舗で、日本産と競合する他国産について、店頭価格、品質等の販売状況を調査



海外小売店における販売の様子

国内外における商談会の開催

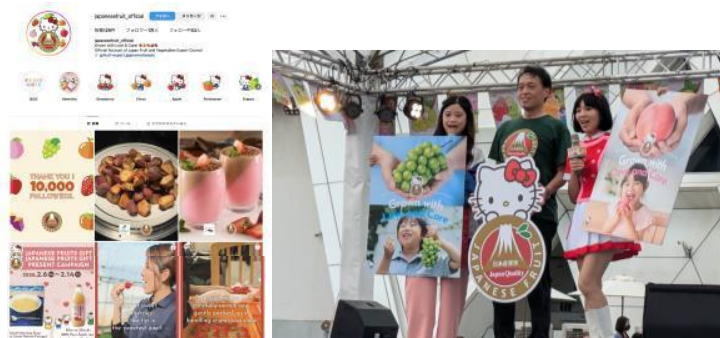
- 販路拡大に向け、輸出事業者等と現地バイヤーをマッチングするための商談会や、海外バイヤーの国内産地への招へいを実施



台湾での商談会（左）や
海外バイヤーの招聘（右）

メディア等による販売促進活動

- 日本産果実マークの認知向上や日本産イメージの定着向上を目指しプロモーションを実施



WEBサイト、SNS、インフルエンサーの
活用やイベントの開催

輸出に関する課題解決に向けた実証

- 業界共通の課題である長期安定供給のため、端境期解消に向けた新産地の育成や複数産地でのリレー出荷等を実証



産地間で異なる規格を統一

■ その他の取組

- 青果物部会（品目別：りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき、なし、いちご、かんしょ・加工品・その他野菜）による品目毎の輸出戦略の策定や中期計画の検討
- 残留農薬規制への対応のため、「台湾向けいちごの輸出に関する勉強会」を開催
- 農薬メーカー等からなるコンソーシアムを形成し、輸出先国・地域が設定する輸入農産物用の残留農薬基準に関する申請に係る取組を実施
- 青果物の輸出に関する各種情報の入手、協議会会員への配信 等